

健康は最高の幸せ



米常事社長 安田 甫

元気で毎日仕事に従事出来ること、当たり前で感謝の念がお互いにありません。この度体調を崩し約三ヶ月入院致しましてお陰様で元気にして頂き久しぶりに出社しました。

元気で仕事をさせて頂けること、改めて感謝の気持ちで一杯です。入院している病気の方とお会いして健康が最高の幸せであることを身に染みて感じました。健康であることは、毎日の規則正しい生活が基本です。

小生が入院しました名古屋市中村区の増子病院には本当に親切な看護士さんばかりで正に白衣の天使です。戦後上映された『月よりの使者』を思い出しました。お互いに健康に感謝し、有意義な人生を送りましょう。

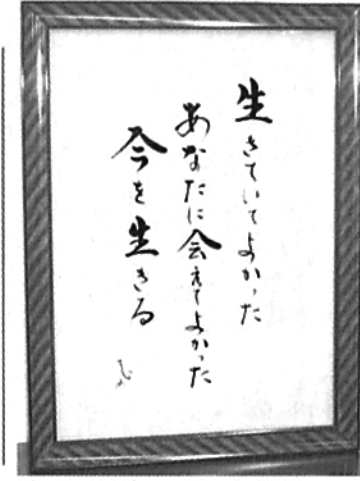
新丸ビル開業の一日



新日本商品社長 嘉弘 島津

JR東横線の丸ビルが6日にオープンした。新丸ビルは地上三十七階建て、高さは約百八十メートルの高層ビルである。高級レストランや服飾店等も多数入り居して、雨が降りしきる中、一般公募や来賓千余人が一斉にテープカットを行いました。全員ではさみを入れず、舞い、大歓声が上がって、丸の内新しいランドマークが誕生した訳です。

私は美味しいものを食べさせる店にはよく足を運びます。この日は香港、銀座でよく立ち寄る福臨門から



(自筆色紙)

鎧橋随想

道を探す



コーワフューチャーズ社長 佐藤 忍

私の趣味のひとつに「魚が通る道すなわち「魚道」、道中の沈黙探し」がある。20年ほど前になるが、マリンクラブに入会し、プレジャーボートを購入し、船名を「シンキー号」(笑)とした。船に探知機をつけ、休日には夜明けから日暮れまで、魚道の道中にあるすみか(磯)を見つけて回った。このように、10年間ぐらいは海で楽しんだ。時間をかけて、魚道や沈み磯を探し、目的の魚を釣り上げた時の喜びは、言葉に表せないくらいである。いくら釣

自らを変える



伊藤忠フューチャーズ社長 原 哲明

「世の中を変える。時代を変える」。どこかの新聞広告です。しかし、自らを良い方向に変えるのは難しい。悪い方向にはいとも簡単だが、中国経済の急成長には目を見張るものがある。だが、これは外資が中国という土地と労働者を使い新たな経済大国を創っており、古い体質はそのまま残っている。と理解したほうが間違いないだろう。

20数年前、都内の一等地にある古くて大きな団地内の小さな一室を購入した友人がいる。建替えがあるという。世の中が変わる。時代が変わる。

変わるとは失うことと思いついて入っている人がいかに多いことか。

時代を変えるには、世代が変わり、社会から共感をえられる部外者が育つのを待つしかないのだろうか？しかし、それではおそすぎないか？

「まず自分自身を変えてみよう！」

自らを変える。されば、世の中が変わる。時代が変わる。

拜見・バドミントン選手

オリンピックに続々送り出す

フジチュ会長 藤田 庸右

バドミントンの世界で、藤田庸右フジチュ会長は、長く知られた存在だ。長年、選手の育成に取り組み、オリンピックに同選手を次々と送りだしているからだ。

同社のオリンピック参加選手は次の通り。

▽松浦進一 88年ソウル

(エキジビション)に出場、男子ダブルスで3位。続く92年バルセロナでは男子ダブルス5位。

▽水井紀子 92年バルセロナ、96年アトランタと女子シングルスに連続出場。また、94年の広島アジア大会の女子シングルスで準優勝。

▽水井泰子 96年アトランタ、00年シドニーの女子シングルスに出場。シドニーでは5位。

▽松田治子 シドニーの女子ダブルスに出場。藤田会長は小、中学生の時、野球選手だった。それが、51年の高校入学のころ、バスケットボールに興味を持った。でも、背丈が十分でなかったため断念。部活動にバドミントンを選んだ。

日本でバドミントンが普及し始めたころの話だ。もちろん、藤田会長は団体の高橋、一般の部で奈良県代表として参加、活躍した。現在は、日本バドミントン協会の役員で、近畿と奈良の両バドミントン協会の会長を兼ねている。

選手を育成しようと思いついたのは84年の奈良県国体開催の時だ。同社の選手は少数精鋭だ。多い時でも選手は3人程度で、実力選手に絞って育成している。

同社の選手は午前中は仕事に励み、午後はすべて練習時間で、選手には恵まれた日課だ。「トップの中国に日本はおよばない」ので、藤田会長は選手のさらなる成長を心待ちにしている。



水井紀子さん(右)と水井泰子さん、に囲まれた藤田庸右さん

「チャンポン」、監督募集

先物4団体で野球チーム結成

先物業界関連4団体(全商連、補償基金協会、日商協、先物協会)の野球愛好家が集まって「チャンポン」が旗揚げして1年余、アフター5に浜町グラウンドに集まり汗を流す元野球少年たち。ただ今監督募集集中。

4団体から成る混成チームに由来する「チャンポン」は目下、メンバーは4団体の若手を中心に19名。キャプテンの平山喜久雄氏(全商連業務部長)は「先物協会から野球道具を無償貸与していただき昨年3月に立ち上げたのですが、グラウンドを確保するのが大変です。メンバーの増強を図っている段階です」と。

ライバルは「ブラックシヤドウズ」。東取の若手を中心とするチームのことだが、「黒影」軍団の胸を借りながら、研鑽を積んで東京都中央区の大会に出場するのを当面の目標に置いている。

先物協会の杉原吉兼事務

局長は「時に好守もあって守備はいいが、打線が非力。有望チームなので、だれか監督を引き受けてくれる方はいませんか」と呼びかけている。

先般開催しました制度政策委員会では、「T-11」制度の導入に係る課題整理(証拠金制度を中心に)について議論しました。その際、会員から多くの方々が傍聴され意見を述べられ大変参考になりました。こうした制度改革の推進に当たっては、会員の率直な意見が重要となりますので、当協会としては今後できるだけ会員から傍聴をいただきたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

証言・戦後先物史

東工取繁盛記(5)

東京工業品取引所特別顧問 間渕 直三

橋・堀留は日本の金融の中心からちよと、はずれていきます。

間渕 最初は丸の内と思いましたが、堀留に郷愁を感じる向きが多くて……出来高がもつと多くなつたら丸の内内建て直せばよいですよ。

——といっても、業界の規模はまだ小さい。

間渕 サラバ取引でグロ一バル化の先鞭をつけましたが、量的にはいまの十倍程度にならないと。ただ、急に大きくなるとアメリカにやられてしまいます。筋肉質にして、徐々に拡大していくことが大切です。

——それにはドル建て取引、オプション取引の導入なども必要ではないでしょうか。

間渕 お客様に機関投資家や銀行が入ってきたらオプション取引をする必要もあります。ただ、いまの業界のお客の構造からだと、オプション取引は早すぎます。といって機関投資家を入れるには、いまのサイズ、業界イメージでは、まだ無理です。円建てとドル建ての併存にしても、いまの客層を考えると必要ないともいえます。業界の構造が変わってからの話でしょう。

——理事長としてやり残したことはありませんか。

間渕 業界の構造改革で手数が自由化され、五年たつたら方向性が出てくるのではないのでしょうか。日本は米国の三十年遅れています。といってアメリカ的なものがよい工取というわけではなく、東浪花節的なグローバライゼーションが望ましいと思っております。(おわり)

通常経費でビル改築

間渕 純資産は十億円しかなかったが、その後、ケチケチ作戦や金取引の隆盛などで大きく増えました。米国の格付け会社のトップが来たとき「トリプルA格」といわれました。

——東工取のある日本

間渕さんの理事長時代にしたことといえば、東工取のビル改築があります。取引所も大きくしているし、日本一の取引所がこんなボロ屋ではと、思っていました。商品取引員は建て直すことには賛成でも、負担は嫌がった。そこで、「通常経費でなんとかする」ことにしました。費用は約四十億円でしたが、それまでに積み立てた分、すべてまかさないました。

——間渕さんが理事長になられた時は大変、貧乏だったそうですね。

間渕 純資産は十億円しかなかったが、その後、ケチケチ作戦や金取引の隆盛などで大きく増えました。米国の格付け会社のトップが来たとき「トリプルA格」といわれました。

——東工取のある日本



がんばれ!「チャンポン」

先物協会の杉原吉兼事務



間渕 純資産は十億円しかなかったが、その後、ケチケチ作戦や金取引の隆盛などで大きく増えました。米国の格付け会社のトップが来たとき「トリプルA格」といわれました。

——東工取のある日本